

# 田沢湖地域審議会の意見

## 1 定住人口3万人の確保と交流人口1,000万人の具体的方策について

- \* 定住促進のため相談窓口の設置と空き家、空き敷地（200㎡以内）、空き店舗の売却、貸付条件を事前に登録するなどし、また、求人、農業就業情報等により定住地での生活が想像できるような一元化された情報の提供が大切である。
- \* 定住促進のためのモニターツアーの募集においては定住希望者にしぼるなどを考慮し、その際すでに定住されている方の体験談を聞かせる機会を持つべきである。
- \* 空き家急増の折から利用しやすい条件など貸す側への情報提供の啓発が大切である。
- \* 住みよい町づくりのため、生活に直結する上下水道等の未整備地区の環境整備に努めて欲しい。
- \* 若者の流出防止・働く場の確保のため用地の提供等、最大限の条件を提示しても、企業誘致に努めて欲しい。
- \* 新エネルギーとして、木質バイオ等の利用及び公共施設等への可能性について検討して欲しい。
- \* 交流人口を増やすため、インターネットの有効活用等により、国内ばかりでなく海外にも発信し誘客に努めなければならない。  
この受け入れ態勢として、語学・接待・食の改善等総合交流研修を行い、観光課・観光協会ばかりでなく、グリーンツーリズム事業の振興等市民あげての運動を展開して欲しい。

## 2 廃校舎の利活用について

- \* 遺跡及び古代人の使用した生活用具等の収蔵庫に活用。
- \* 毎年、田沢湖地区を会場として行われている、東北地区の小学生によるマーチング講習会に活用。
- \* 地域住民の福祉向上に資するため、グループホーム等民間資金を呼び込むため広くピアール活動が必要。